

2016年度 第2回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 選考報告

選考委員長 櫻井 一弥

1. 応募講演

4 講演

2. 選考経過

2-1 建築デザイン発表会

2016年6月18日(土) 10:00~10:40

於：東北大学工学部人間・環境系教育研究棟 トンチクギャラリー
(仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-06)

応募4講演のポスター掲示、ならびに発表が行われた。限られた発表時間の中でそれぞれのコンセプトが紹介されるとともに、活発な質疑回答が行われた。発表会は滞りなく進められ終了した。時間厳守にご協力いただいた発表者各位、聴講者各位に感謝申し上げます。

2-2 選考委員会

2016年6月18日(土) 15:00~16:00

於：東北大学工学部人間・環境系教育研究棟 講義室103

発表全体を聴講した建築デザイン教育部会の部会員5名(下記参照)で、建築デザイン発表賞にふさわしい講演を選出することとした。

内規に従い、計4件の講演より1つの講演を選出することを確認し、部会員相互で協議した。様々なタイプのプロジェクトがある中で、どのように賞を選出するか、議論が難しかったが、最終的にはそれぞれのプロジェクトを多角的な視点から評価し、議論を通して決定することとした。

その際、内規に記載の通り、建築デザイン発表会を欠席する部会員には事前に講演梗概を開示し、賞にふさわしい候補を挙げてもらうこととしていたが、欠席の部会員からは特に候補が挙がらなかったため、選考委員会に出席の部会員の意見で決定した。

結果、次節に示す講演に第2回建築デザイン発表賞を授与することとした。

選考委員長： 櫻井 一弥 (建築デザイン教育部会長、東北学院大学)

選考委員： 小地沢将之 (建築デザイン教育部会幹事、仙台高等専門学校)

崎山 俊雄 (東北学院大学)

大沼 正寛 (東北工業大学)

増田 豊文 (東北文化学園大学)

3. 選考結果

第2回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 1点

「石巻市立町 空地リノベーション計画」

三浦 悠 (敬称略)

(東北学院大学)

4. 講評

「石巻市立町 空地リノベーション計画」

本講演は、宮城県石巻市における復興まちづくりの一連の活動のうち、空地を利用してネットワーク化するという意欲的なプロジェクトの一つを紹介したものである。2011年3月11日の東日本大震災後、被災した石巻市中心市街地では、建物の取り壊しが進み、エリア内に小規模な空地がいくつも現れるという事態が発生している。本報告では、それらの実態を把握すべく、比較的短い時間的スパンごとに土地利用に関する実態調査を精緻に行い、空地やその一時的利用としての駐車場の分布、店舗利用の業態などを細かく記録している。そうした調査にもとづき、効果的な空地を選択した上で、ポケットパークとしての利用やイベント会場への転用などを目指した具体的な整備計画を長期にわたり作成している。本講演では、そうした一連の計画のうち、実際に整備までこぎつけたものをパイロットプロジェクトと位置付け、計画案の作成から家具・什器の仮設置を経て、実際の整備にいたるプロセスを紹介したものである。

選考委員会では、本講演の背後にある長期的かつ精力的な活動と、具体化されたプロジェクトの強さが高く評価された。一方で、プロジェクト全体に対する講演者の貢献度が講演からだけでは不明であること、今後も継続して行われる活動の一部を紹介した内容であり、今後の課題なども明白なため、プロジェクトの完結性が曖昧であるとの議論もあった。しかしながら、石巻市中心市街地という大きな問題を抱えたエリアに対し、従来とは異なった空地の利用を積極的に提案しながら、実現していく姿勢は大いに評価すべきとの結論に達した。講演自体についても、分かりやすいプレゼンテーションに加え、質疑に対する適確な回答が評価され、今回の賞に選出された。

以上